

VEQTAの遺伝子疾患検査について（口腔粘膜検査）

送付内容

- ①DNA採取用キット 1頭につき 1本
- ②申込書 1頭につき 1枚
- ③返信用封筒

○特急をお申込みの場合に限り、キットは1頭につき2本ずつお送りします。
○申込書は漏れのないようご記入ください。
○キットと申込書を、返信用封筒にてご返送ください。

DNA採取用キット取扱方法



1

ケース（筒）のラベルに愛犬・愛猫の呼び名を記入します。ピンク色のキャップを外し、DNA採取用キットを取り出します。採取部分は、素手で触れないようにしてください。

※キットは1頭につき1本ずつ使用します。複数頭お申込みの場合は、間違いがないようご注意ください。



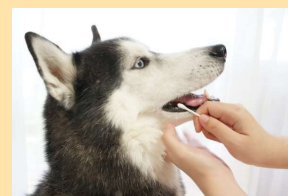
2

夾雑物の混入を防ぐため、食前に採取してください。キットを口の中の頬や唇の裏側に5～10回ほど上下、前後に動かし、十分にこすりつけて粘膜を取ります。

生後半年未満の子犬・子猫は、まれにDNAの量が不足する場合がございますので、強めにこすり付けてください。

※DNA不足等により再検査が必要な場合は、再検査費が発生いたします。あらかじめご了承ください。

※母親のDNAの混入を防ぐため、離乳後の検査を推奨します。



3

キットをケース（筒）に戻し、しっかりとキャップが閉まっていることを確認してください。

※キットは申込書にテープ等で貼り付けなどはせず、そのまま返信用封筒に封入し、速やかにご返送ください。

※返信用封筒にお客様のご住所・お名前をご記入ください。



検体採取に関するお願い

昨今、お客様にご送付いただく口腔粘膜検体について、DNAが不足していたり、夾雑物（きょうざつぶつ）が混入していたりする事象が発生しています。

その結果、「判定不能」となり、再採取いただいてからの再検査のお願いをしています。

※夾雑物：他の個体のDNAやフードの食べかす等、DNAの中に混じっているもの

【再検査費】1項目あたり

柴犬の緑内障検査	4,000円（税込）
その他の検査	2,500円（税込）

【口腔粘膜採取の注意点】

DNA不足を防ぐための、採取ポイント

- キットを口の中の頬や唇の裏側に5～10回ほど上下前後に動かして下さい。
- キットを回転しながら強く十分にこすりつけて下さい。

夾雑物の混入を防ぐための、採取ポイント

- 母親のDNAの混入を防ぐため、離乳後の検査をお勧めしております。
- 他の個体の、口やおしりをなめてしまわないよう、採取前は他の個体と離して下さい。
- 食前に採取を行って下さい。
- 水を飲ませてからの採取が効果的です。

検体の取り扱いについて

- 検査キットは高温多湿を避けて下さい。また、冷凍はしないで下さい。
- 口腔粘膜採取後、速やかにご返送下さい。
- 特に夏場などの気温の高い時期は、DNAが損傷する可能性が高くなります。弊社営業日（土日祝を除く）に検体が到着するよう、発送日をご調整下さい。

ご不明点等ございましたら、madoguchi@veqta.jpにご連絡下さい。

弊社では、信頼性が保証された検査結果を報告するため、コントロールサンプルを含めた検証を行っております。

また、必要に応じて2種類の分析方法による高精度の検査を行っております。